

日本養豚大学校



Pig Future Academy

日本養豚大学校 2024年度 初級コース 第9期 受講生募集

「日本養豚大学校」は第一に、そこに学ぶ者が「養豚産業」の日本の社会における存在意義と責任を十分に理解し、自らの仕事に誇りをもてるような“哲学”の共有をめざして設立され、2013年9月に開校致しました。これまでに第8期生までの293人が全課程を修了し、受講生及びその経営者の皆様から高い評価を頂いております。

本校では、次代の養豚産業、そして地域社会を担う「人づくり」をめざしており、年3回のスクールを通して再生産可能な養豚経営を実践できるだけの“知恵”を発揮することができるよう、基礎から実践までの知識を教授します。

人材の育成こそが日本養豚継続発展の鍵となる！熱意ある皆様の応募をお待ちしております。

2024 年 6 月

日本養豚大学校 校長 志澤 勝
同 運営委員長 稲吉 弘之

日本養豚大学校

概 要	日本養豚大学校 校長 志澤 勝 同 副校長 日高良一 同 運営委員長 稲吉弘之
主催団体	一般社団法人日本養豚協会 (JPPA)
後 援	日本養豚事業協同組合 一般社団法人日本養豚開業獣医師協会 (JASV)
事務局	一般社団法人日本養豚協会 (JPPA)
大学校 設立協賛企業 特別協賛会社	フィード・ワン株式会社 日本農産工業株式会社 日本養豚事業協同組合 中部飼料株式会社 日清丸紅飼料株式会社 有限会社ブライトピック 有限会社コマサファーム 有限会社マルミファーム 株式会社メンデルジャパン 他8協賛企業

【問い合わせ先】

一般社団法人 日本養豚協会 (JPPA) 内 日本養豚大学校 事務局 (担当：海老原)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15 高栄ビル2階

TEL : 03-3370-5473 FAX : 03-3370-7937

E-Mail : t.ebihara@pig-pins.com

jppa.office@pig-pins.com

日本養豚大学校 初級コース第9期 募集要項

※受講生は対面式での受講となります

◆ 開講時期 (予定) 天災・悪性伝染病等の影響により変更する場合があります

- ・ スクール① 2024年 11月20日(水)～11月22日(金)
- ・ スクール② 2025年 2月12日(水)～2月14日(金)
- ・ スクール③ 2025年 3月10日(月)～3月12日(水)

※ 各スクールとも前夜に指定の宿泊場所に集合

※ スクール①～③を履修し、課題レポートを提出した者に初級コース修了証を発行します

※ 各スクールのカリキュラムについては別紙①をご参照ください

主たる講義場所

学校法人麻布獣医学園 麻布大学内

神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

JR横浜線「矢部駅」より徒歩4～5分



◆ 受講料

初級コース受講料 1人 187,000円(税込) 【前払い制】

※ 実習費用、講義資料および教科書代を含みます

※ 交通費および宿泊費・食費は含みません(ただし、宿泊については事務局にて一括予約)

※ 受講が確定した方には、経営者宛に受講料の請求書をお送りします

※ 1日でも参加された方への受講料の払い戻しはできません

※ 雇用保険加入各社においては、自治体の人材育成支援助成金等の活用をお薦めします。
受講料等の費用の一部を助成する制度です。

◆ 募集定員

36人



◆ 受講要件

- ① 就業半年以上の生産現場で働く後継者・従業員(現場で使う最低限の用語を理解できる方)
- ② 受講対象制限は設けませんが、経験年数は5年以内、年齢40歳未満の方が優先となります
- ③ 学歴不問 ただし学習意欲のある方
- ④ スクール①～③の日程をすべて受講できる方(代替受講は原則認めません)
- ⑤ 受講生が毎回持ち帰った知識や技術について、現場でのフォロー体制が取れる方
受講者のレポート類に経営者や場長が目を通し、学んだことを現場で実践できる環境を整えていただくこと
与えられた次のスクールまでの宿題をフォローできる体制を整えていただくこと

◆ 募集定員を上回った場合の受講者決定方法

参加希望者が募集定員を上回った場合には、日本養豚大学校運営委員会において下記の方法で受講者を決めさせていただきますので、ご了解をお願いします。

第1段階 1経営体からの受講者は1名とする(なお、複数の場合は第2締切より調整します)

第2段階 上記で絞り込めない場合は抽選とする

第1締切 2024年08月末

※第1締切までに応募された方を優先確定

第2締切 2024年09月末

◆ 応募締切

2024年 9月末

※ 所定の受講希望書(別紙②)に必要事項を全てご記入のうえ、FAX(03-3370-7937)にてJPPA事務局まで応募ください。

※ 第1締め切りの受講受入れ結果については、9月中旬頃に報告致します

※ 開催期日が近づきましたら、注意事項、宿泊場所等を記載した「受講のしおり」を各スクールごとにお送りします。

日本養豚大学校 初級カリキュラム

※調整中のため、昨年度の講義内容を記載しています

スクール① 11月20～22日

※講義場所：麻布大学

第1日目	第2日目	第3日目
開講式 ① 産業 養豚産業の社会的責任と役割 ② 産業 養豚の哲学（若者に伝えたいこと） ③ 産業 養豚経営の基本 -良い豚・良い餌・良い管理- ④ 衛生 バイオセキュリティの意義と実践 ⑤ 管理 豚の声を聴き体温を感じる管理 ⑥ 管理 養豚の仕事とベンチマーキング ◆ オリエンテーション	⑦ 管理 ボディコンディションと初乳の重要性 ⑧ 繁殖 繁殖成績の取り方とチェックポイント ⑨ 繁殖 自習準備・タイベック脱ぎ方・AW対応講習 ⑩ 実習 豚の扱い方 ⑪ 実習 ボディコンディションとP2の測定 ⑫ グループミーティング課題作業	⑬ 繁殖 母豚を知る：雌豚の繁殖生理を中心に ⑭ 繁殖 人工授精と妊娠鑑定 ⑮ 繁殖 妊娠豚の管理と繁殖障害 ⑯ 実習 人工授精（AI）の基礎 ⑰ 実習 妊娠鑑定と直腸診断 ⑱ グループミーティング課題発表

スクール② 2月12～14日

※講義場所：麻布大学

第1日目	第2日目	第3日目
① レポート報告 ② 衛生 豚の法定伝染病とその防疫対策 ③ 衛生・生態 豚の臓器とその役割・病気、～解剖実習を前 ④ 衛生・管理 繁殖部門のトラブルシューティング ⑤ 衛生・管理 離乳・肥育部門のトラブルシューティング ⑥ グループミーティング課題作業	⑦ 衛生・管理 農場HACCPとGAP・5S ⑧ 管理 グループシステム入門 ⑨ 衛生 養豚場におけるバイオセキュリティの基礎 ⑩ 実習 離乳豚の解剖 ⑪ 自習・解散	⑫ 管理・施設 豚舎における換気、環境コントロールの基礎 ⑬ 管理 養豚のふん尿処理と環境規制 ⑭ 栄養・飼料 豚の栄養と飼料の基礎 ⑮ グループミーティング ⑯ 課題発表

スクール③ 3月10～12日

※講義場所：群馬県食肉市場・全国食肉学校・麻布大学

第1日目	第2日目	第3日目
※前日集合は群馬県群馬県会場にて （群馬県食肉市場・全国食肉学校） ① 流通 と畜の流れ（DVD視聴）・食肉 ② 流通 安全な豚肉を食卓に届ける検査の現状・食肉 ③ 流通 枝肉から部分肉、食肉卸の原価計算と流通・食肉 ④ 流通 部分肉の模範加工見学調理実習・試食 ◆ ※ 相模原へ移動	⑤ レポート報告 ⑥ 生態・管理 養豚におけるアニマルウェルフェアの対応 ⑦ 経営 生産者講演 ⑧ グループミーティング ⑨ 経営 生産者講演 ⑩ 経営 出荷コントロールがもたらす利益 ⑪ 豚肉試食（官能評価）及び懇親会	⑫ 経営 飼料米・エコフィードの可能性と注意点 ⑬ 経営 生産者講演 ⑭ 経営 養豚業界で仲間をつくり一緒に前進する ⑮ 産業 養豚経営の基本 -良い豚・良い餌・良い管理- ⑯ グループミーティング ⑰ 修了レポート発表 ⑱ 修了式



日本養豚大学校 受講希望書

初級コース第9期

締切：第1締切8月末（優先確定）、第2締切9月末

↓↓↓ FAX先：03-3370-7937 ↓↓↓

【受講希望者】

氏名ふりがな				性別
受講者氏名				男性・女性
会社名				
勤務先住所 (書類送付先)	〒			
勤務先TEL			勤務先：	F A X：
携帯電話番号			メールアドレス：	
受講者年齢	歳	生年月日：	年 月 日	農場経験年数： 年
現在の担当部署			ツナギサイズ： M・L・2L・__L	長靴サイズ： cm

※受講時に保険に加入するため生年月日の記入をお願いします

【経営者情報】 ※上記と同じ項目内容の場合は「同上」と記入して下さい。

経営者氏名				
会社名				
住所 (書類発送先)	〒			
大学校派遣 担当者名			メールアドレス：	
TEL			F A X：	
農場規模	母猪数：約 頭	年間出荷頭数：約 頭	従業員数：	人

◆受講確定後について（受講が確定しましたら、確定連絡通知やしおりを送付いたします）

【受講中の宿泊に関して】

・受講期間中の宿泊場所は事務局で手配致します。防疫の関係上、指定するホテルへ、スクール毎、前日（前泊）入りとなります。詳細は受講確定後にご案内致します。

【体調管理に関するお願い】

・開講前に37.5度以上の発熱がある方及び発熱が続いている方は受講をご遠慮下さい。
・その他、体調がすぐれない方は事務局までご相談下さい。

日本養豚大学校への希望（具体的に）あるいは質問などがあればご記入ください